

# AGRI WORK POINT

アグリ ワーク ポイント



農業経営支援課 渡辺彰人

## ウンカ類防除

ウンカ類に防除効果の高い箱施用剤を使っても、本田防除を1回以上行いましょう。出穂後の防除は、効果が低くなるので、株元に薬剤がかかりやすい出穂前が基本です。

### 防除時期

- ・ 早生…7月下旬
- ・ 中・晩生…8月上旬

## カメムシ防除

イネカメムシは基部を吸汁し不稔になるため出穂期にも防除しましょう。穂揃い期以降も斑点米の原因になり、色彩選別機を用いても除きにくいいため防除が必要です。

### 防除時期

- ・ 1回目…穂揃い期
- ・ 2～3回目…前回散布から7～10日後

## 米粒を充実させる水管理

幼穂形成期から出穂後10日間は多量の水を必要とします。水を切らさないように管理し、それ以降は間断かん水を繰り返します。

## 穂肥の施用について

8月は穂づくりの重要な時期です。穂肥は出穂2週間前までに行い、充分たん水をして3日間は止め水で管理します。

葉色の落ちていない稲は、肥料分が切れておらず倒伏の危険があるため、穂肥は施用できません。また、コシヒカリは倒れやすいため、他の品種より遅らせて行う必要があります。なお、一発肥料を使った場合は穂肥をする必要はありません。